

今年度も、12月最終号発行の時期となりました。ようやく季節が様変わりした実感が得られつつある昨今です。とはいえまだに冬か夏かわからぬような、微妙な天候に見舞われる日もあるようです。思春期・思春期前の子どもたちの心も同様で、ちょっとしたことで良くも悪くも影響を受け、彼らの繊細さ、感受性の豊かさ、可能性の大きさに、驚かされます。

今号の特集は「子どもの自傷・自殺」です。最近10年間の変遷として、子ども（0～14歳）の不慮の事故・交通事故による死者数は、半減以上の減少を得ています。一方、子ども（0～14歳）の自殺による死者数は2倍程度も急増しており、子どもの死因として極めて深刻な問題となっています。今回の特集では、子どもの自傷・自殺にかかる近年の動向、救急医・精神科医からの視点、その予防について学校・家庭そして小児科医としてできることについて、第一線の専門の先生方から御解説いただきました。そのほか、JAK阻害剤の最近の話題などについても、さまざまな症例報告等と併せて、貴重な原稿をいただいております。

子どもの自傷・自殺は、非常に重い課題です。し

かし、子どもの死因としてこれだけその重要性が増している現代において、その時代に生きる私たち小児科医としては、どのような専門であっても正面から対峙せざるを得ないものとなっています。これは小児科医だけで対処できるものではなく、救急医・精神科医と連携し、家庭・学校を巻き込み、社会全体が子どものことを第一義にしっかりと考えることで、初めてそのスタートラインにつくことができる課題です。まさに、小児科医としてのアドボカシーが問われる課題のひとつと言えるのではないのでしょうか。将来のわが国を担う大切な子どもたちが、biopsychosocialに健全に育ってゆくために、私たちが小児科医として何ができるか、きたる新年を前に改めて考え直す上でも、要所をおさえた読み応えのある特集になっているものと思います。ぜひ御一読いただけますと幸いです。

いよいよ本格的に冬の寒さがやって参りますが、くれぐれもお身体ご自愛の上お過ごしください。皆様におかれましては、どうぞ良い新年をお迎えください。

(清水 直樹)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第63巻 第12号 12月号
2022年12月1日発行（毎月1回1日発行）
定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）
〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]
Tel 03(3811)7184 [営業部直通]
Fax 03(3813)0288
www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。